

猪子石城(名古屋市名東区神月町)(神明社と月心寺)

猪子石城(いのこしじょう)は、現在の名古屋市名東区にあった日本の城(平城)。

香流川の北岸に築かれ、東西約90メートル、南北110メートルの規模で、現在は月心寺と神明社の境内となっている。かつては2重の堀をめぐらせてあったと伝わっている。

室町時代前期に遠江から移ってきた横地氏の城。天正12年(1584年)の小牧・長久手の戦いで、城主横地秀次が羽柴秀吉方の池田恒興らの案内役を務めるが、敗れて美濃方面に逃走した後に廃城となった。

Wikipediaによる



神明社